

第3節 文化活動

◎施策分類 「文化芸術活動の充実」

1. 現 状

本町では、町民だれもが自由に文化活動に参加できる総合文化祭の開催をはじめ、幼児、小学生、中学生のそれぞれの段階に応じた鑑賞機会の提供など、文化芸術にふれ、楽しさや豊かさが実感できる事業の提供に努めています。

また、一般を対象とした鑑賞機会では、音楽鑑賞会や企画団体が提供するライブやコンサート、文化団体による発表会が開催されています。

町民アンケートでは、文化芸術を楽しむために「音楽や演劇、美術作品などを鑑賞する機会を増やす」ことや、文化団体の後継者の育成、財政面について支援が必要という回答が多かったことから、身近に文化芸術に触れる鑑賞機会や参加機会の拡充と文化団体やサークルの活動が潤うための工夫や事業推進の取組が必要です。

2. 課 題

○だれもが気軽に楽しめる文化芸術活動の拡充が必要です。

3. 目 標

「気軽に、楽しくできる文化活動」をめざして

○鑑賞機会の提供と文化団体の活動への支援をとおして、参加機会を拡充し、文化芸術活動を推進します。

4. 方策・推進事項

方 策	推 進 事 項
魅力ある生の文化芸術に触れる鑑賞機会の充実	・芸術文化鑑賞会の開催 (子ども鑑賞会、小中学生鑑賞会、一般鑑賞会)
だれもが楽しく参加できる機会の拡充	・総合文化祭の開催 ・文化団体の自主事業実施奨励・援助 ・芸術文化ギャラリーの設置 ・文化活動強調期間の設定(情報提供と啓発)
文化団体の活動状況の把握と支援の充実	・文化団体の活動支援(活動や事業への助言・協力) ・文化団体の活動情報の収集と提供 ・文化振興助成金

◎施策分類 「郷土の歴史と文化の伝承活動推進」

1. 現 状

本町の文化財としては、白糠駒踊りをはじめとする郷土芸能、古式舞踊などのアイヌ民族伝統文化、31ヶ所の埋蔵文化法財包蔵地のほか、民族資料を中心にした郷土資料があります。

「白糠駒踊り」は、本町を代表する郷土芸能として、町内外でのイベント出演など、郷土芸能伝承活動の中心的な役割を果たしており、アイヌ民族伝統文化についても、アイヌ三大祭りや小中学校での出前講座をとおして積極的な活動が行われています。

一方、活動推進のうえでは、後継者の確保が各団体共通の課題となっており、支援の充実や連携事業の展開が必要となっています。

また、郷土資料は、調査・研究や、展示、情報提供などが十分ではなく、保管も関係施設に分散されています。町民アンケートでは、「郷土芸能や郷土資料を大切にすることを育てる」「郷土芸能や郷土資料を公開する機会を増やす」ことが必要であるとする町民が多いことがわかりました。

2. 課 題

- 郷土資料の積極的な活用と施設の整備が必要です。
- 郷土芸能団体の後継者確保が必要です。

3. 目 標

「歴史や文化を未来へつなぎ、生かす活動の展開」をめざして
○郷土資料の活用を進めるとともに、郷土芸能の伝承、団体活動の活性化を図る事業を推進します。

4. 方策・推進事項

方 策	推 進 事 項
保存伝承活動推進のための団体との連携	<ul style="list-style-type: none">・各郷土芸能団体の活動支援、事業協力 (駒踊り保存会・駒踊り音頭保存会・しぐれ白糠音頭保存会・しらぬか駒太鼓)・白糠アイヌ文化保存会の活動支援、事業協力 (アイヌ文化出前講座の実施、伝統文化の調査、研究、情報提供)・白糠のアイヌ民族と台湾先住民族との文化交流事業の推進
後継者育成の充実	<ul style="list-style-type: none">・各郷土芸能団体との連携事業（情報提供、活動への参加啓発、学校等への出前講座の体制整備）・アイヌ文化保存、伝承事業への支援、人材活用の促進
郷土資料の積極的な活用	<ul style="list-style-type: none">・保管郷土資料の整理や情報提供と調査、研究・保管（展示）施設の確保、整備・情報や学習機会の提供・記念碑の維持管理と情報提供の推進